



photo: Ken Ohki

TAKE FREE
2026.5

とやまごころ

—日本橋とやま館たより—

あなたの知らない富山が誇る
ヒト・モノ・コトの魅力が見つかるフリーマガジン



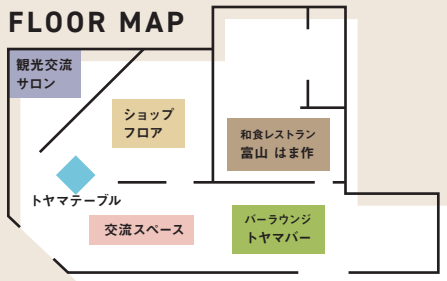
NIHONBASHI
TOYAMA



5月の日本橋 とやま館情報

日本橋とやま館では、食、工芸、ワークショップなどもりたくさんのイベントを開催中！ぜひ「富山」をたっぷり感じてください。

FLOOR MAP



トヤマテーブル

初夏の富山 おすすめギフト

4/10(金)~5/7(木)

富山の麺類やお菓子、地ビールなど初夏のギフトやお土産にお勧めする商品をご紹介します。



初夏の富山の食巡り

5/8(金)~5/28(木)

初夏の富山の食卓を彩る人気の食材や手土産に好適品をご紹介します。



バーラウンジ トヤマバー

IWA 5

ドンペリニヨンの5代目醸造最高責任者を務めたりシャル・ジョフロワ氏が、富山県立山町で醸す純米大吟醸「IWA 5」。3種の酒米と5種の酵母を巧みにアッサンブラージュ（ブレンド）し、16ヶ月以上の熟成を経た独自の味わいの奥行きと調和を実現しています。2025年にリリースされた最新のアッサンブラージュ6（2024年醸造）は、しなやかでややドライな味わいと奥行きのある香りが特徴です。



60ml
— 2,000円(税込)

交流スペース

※イベント最終日は18:00終了

立山黒部の春 雪と緑のパノラマ体験 ～アルペンルートとトロッコ電車の魅力～

4/10(金)~5/7(木)

「立山黒部アルペンルート」や「黒部峡谷鉄道」など、春から初夏における、富山の山岳地域の魅力を展示や映像などを通じて紹介します。

富山県と長野県を結ぶ世界有数の山岳観光ルート「立山黒部アルペンルート」は今年開通55周年を迎えます。4月15日に全線開通し、大迫力の雪壁「雪の大谷」や立山ロープウェイから眺める雪原、5月中旬頃から姿を現すみくりが池など、初夏も見どころが盛りだくさんです。



「トロッコ電車」を運行する黒部峡谷鉄道は本年創立55周年を迎えます。5月の黒部峡谷は、冬のなごりを感じる「山々の残雪」と、鮮やかに芽吹く新緑のコントラストが圧巻です。4月20日に運行を開始した「トロッコ電車」に乗って、雪解け水でエメラルドグリーンに輝く黒部川を横目に初夏の爽やかな風を感じる旅は、まさに非日常の体験です。



ショップフロア

【桂樹舎】 卓上鯉のぼり

越中八尾の伝統技法で一枚一枚丁寧に漉かれた和紙を使い、職人が手仕事で仕上げた鯉のぼり。和紙ならではの柔らかな風合いと、鮮やかな色彩が空間にやさしく映えます。飾るだけで、家の中に「日本の季節」がふわりと広がる逸品です。



— 13,200円(税込)

交流スペース

※イベント最終日は18:00終了

高岡銅器 ～至高の逸品展～

5/8(金)～5/27(水)

富山県を代表する伝統工芸品「高岡銅器」。鉄铸件から始まり”銅”、”アルミ”、現代では”錫”を使いその時々合うよう品々を制作し技を継承してきました。今回、高岡銅器を再発見していただく機会として、茶器、花器、仏具、仏像など高岡を代表する作品を中心に、400年間継承されてきた伝統の技の粋を極めた至高の品々の展示販売をいたします。本年は夏に向け、高岡の「風鈴」も展示いたします。



【高岡銅器の歴史】

1609(慶長14)年に加賀前田家二代藩主の前田利長が高岡城へ入城し、高岡を開町しました。その際に奨励した産業の一つが鑄物づくりです。1611(慶長16)年に近郷から7人の鑄物師を招き、金屋町に鑄物場を開きました。当初は銅、釜、鋤などの生活道具を作っていましたが、やがて仏具や仏像の製造が盛んになりました。近代では超絶技巧を駆使した芸術的な作品がウィーン万博などで展示され、現在においても海外で高い評価を得ています。



和食レストラン 富山はま作

とやま海鮮丼

「富山湾の宝石」と言われるシロエビは、上品な甘みが特徴です。旬の食材を贅沢に味わうシロエビ南蛮漬けサラダ、小鉢、みそ汁、小漬物付きのランチはいかがでしょうか。

※ごはんは白米で、ご提供します。

状況により内容が変わります。



— 4,380円(税込)

館内スケジュール

金 1						
土 2	立山黒部の香 雪と緑のパノラマ体験 (交流スペース)	初夏の富山おすずめゼンゴ (トヤマテール)				
日 3						
月 4						
火 5						
水 6						
木 7						
金 8						
土 9						
日 10						
月 11						
火 12						
水 13	高岡銅器 至高の逸品展	初夏の富山の食巡り (トヤマテール)	とやま海鮮丼 (和食レストラン 富山はま作)	IWA5		
木 14						
金 15						
土 16						
日 17						
月 18						
火 19						
水 20						
木 21						
金 22						
土 23						
日 24						
月 25						
火 26						
水 27						
木 28						
金 29						
土 30						
日 31						

5月28日(土)は交流スペースをクローズいたします。

観光交流サロン

お気軽に
お立ち寄りください

伝統工芸をしつらえた上質な空間で、コンシェルジュが富山県の観光情報等をご案内いたします。



新旧車両が織りなす
市民の足 #01

富山市の市電は日本初の本格的な都市型交通システム「LRT（ライトレールトランジット）」を導入し、市民や観光客の移動手段を担っています。低床車両「セントラム」は、高齢者をはじめすべての方が安心して利用できるバリアフリー化を実現。中心市街地の活性化と環境負荷の低減を両立し、持続可能な街づくりのモデルとなっています。



新旧車両が織りなす
市民の足

「鉄軌道王国とやま」の名のとおり、富山県には個性あふれる様々な路線が走っています。その一つ、富山市の市電は1913年の開業以来、100年以上にわたり市民の移動手段として親しまれてきました。戦災からの復興や高度経済成長期の車社会の到来による存続の危機などを乗り越え、現在では市民の足として、また市内の観光地を巡る重要な交通手段として利用されています。

新旧車両が織りなす
市民の足 #02

2020年に、富山駅南側の「富山軌道線」と北側の「富山港線」がつながりました。市民の通勤・通学の利便性向上だけでなく、富山市内をシームレスに巡ることができるようになり、観光都市としての満足度も高まりました。富山市の公共交通を軸とした「コンパクト・シティ」の取り組みは、人口減少及び若くは高齢化社会における街づくりとして、国内外から評価を得ています。



[表紙の紹介]

「鉄軌道王国」として知られる富山県。その中心都市富山市を走る市電は、市民の足であり、街を象徴する重要な交通インフラです。最新の低床車両から懐かしいレトロ車両まで、多様な車両が往来します。機能美と歴史が共存する、富山ならではの鉄道風景を切り取りました。

撮影：大木賢



日本橋とやま館

営業時間

ショップフロア 10:30～19:00
観光交流サロン
和食レストラン 11:30～14:30
17:00～22:00(日・祝～21:00)
バーラウンジ 11:00～21:00
年中無休(年末年始、ビル施設点検日等を除く)
5月28日(金)は交流スペースをクローズいたします。

営業時間やイベント内容、商品の価格については変更となる場合があります。最新の情報については、日本橋とやま館の公式ホームページ・SNS等でご確認ください。

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-2-6
日本橋大栄ビル1階
ショップフロア(物販) 03-3516-3020
和食レストラン「富山はま作」03-3516-3011
その他(イベント等) 03-6262-2723

電車でのアクセス

東京メトロ
銀座線・半蔵門線「三越前」駅：
B5出口より徒歩すぐ
銀座線・東西線「日本橋」駅：
B9出口より徒歩3分

都営地下鉄
浅草線「日本橋」駅：
B9出口より徒歩3分

JR
総武本線「新日本橋」駅より
徒歩8分
「東京」駅より
徒歩8分

公式ホームページ



公式ホームページ更新中！
さまざまな情報を発信しています。

日本橋とやま館

公式SNS

